



# すべての子どもに よりよい保育を！

## 11. 23保育大集会

11月23日「すべての子どもによりよい保育を！11・23保育大集会」が、今年建築100年を迎え、この後改修工事を行う為にしばらく使えなくなる日比谷野音で開催されました。

全国から2000人、千葉県からは40人参加し、二本松はじめさんのミニコンサートで開会しました。

名古屋発の「こどもたちにもう1人保育士を！」の運動から生まれた、「もう1人行進曲」を歌い、配置基準の改正を訴えました。

### 〈基調報告〉

「少子化が急激に進行し、保育の重要性に注目が集まる中、現行制度・政策の問題点が明らかになっています。国は異次元の少子化対策として『こども未来戦略方針』を閣議決定しましたが、そこに『75年ぶりの配置基準改善』が明記され

たことは、私達の運動の成果であり、大きな前進です。しかし、残念ながら『こどもの権利保障を最優先にした制度・基準の抜本的改善』を求める私達の願いの実現は、まだまだ道半ばです。」と発言がありました。

「こどもたちに、安心・安全なよりよい保育を実現させていくために、さらに声を上げ、行動していきましよう！」

### 〈こども誰でも通園制度(仮)〉

少子化対策の目玉的存在として出された「こども誰でも通園制度(仮称)」は、6ヶ月〜2歳児の未就園児に対する、新たな給付を創設し、上限10時間まで「定期的な預かり」や「自由利用」に対応するもので、国は今年度試行事業を実施しています。来年度本格実施と言っていますが、来年度も試行実施の拡大と少々トーンダウンしています。現場任せにしない対応を求めています。

### 〈赤ちゃんの急死を考える会〉

こどもを認可保育施設で亡くした保護者の方の発言がありました。

「乳幼児の死亡事故は、通所初日、あるいは数日の間に起きています。誰でも通園制度は、この間のこども達をなくした保護者たちの、必死の努力で、事故発生時の状況を明らかにさせ積み上げてきた結果を無視するもので、こどもの命を軽視している」と訴えました。



集会後は、銀座に向けて、「こども予算は今すぐ倍増！」等訴えながら、パレードをしました。



# 第55回 全国保育団体合同研究集会 合研in磐梯熱海

感想

2023年7月29日(土)~31日(月)

## ・「保育の安全と子どものいのち、権利を守る職員集団づくり」

保育の基本の話があり、どの人も一度見られるといい内容でした。

安全と言うことですが、不適切保育や、「保育とは」に繋がると思いました。

「いつもと違う」を大切に、みんなに伝えていきたいと思います。(千鳥)

## ・「園の大人同士の関係、どうしてる？ どうしたい？」

子どもの言動に背景があるように、大人の言動にも背景がある。そんなふうを考えられたら、人に優しくなれ、自分も穏やかになれるという話しがとても学びになった。

### 「スタートしたこども家庭庁と保育」

「疲れた」というこどもの言葉1つの対応で、いのちを落とすことになってしまったという話は、もっと多くの大人に知って欲しい内容であった。私も伝えていきたいと思う。

研修は、学びや気づきがあるので、ギリギリになってしまい、多く聞けなかったことを悔やんでいる。来年はもっと早くから参加しようと思う。現地にも行ってみたいと思った。(高根)

・担当クラスの嘔みつき対応に困っていたが、ふれあい遊びをたくさんすると良いと、クラスで取り入れてみると効果が見られた。

研修の内容を活かせてありがたかった。現地に行かなくても、見たいときに見れることも助かる。(芝1)

## ・「大人も子どもも、もっと甘えて大丈夫！」 —子育てはいつからでもやり直せます—

○印象に残っていることが3つあります。

・子どもが安心して自分の思いを表現できることが、成長・発達する上で全ての土台になっている。

・子どもが自ら育つ力を持っている

・相手の困りごと(SOS)に気づく為には、自分の考えを変換する必要もある。

以上3点を意識しながら過ごし、適切な援助は何か考え、関わっていきたくて思いました。

○とても面白く、興味深い話ばかりでした。明日からの保育にすぐに活かして行きたいと思うことが多かったです。機会がありましたら、また、お話を伺いたいと思います。(芝1)

## ・「園の大人同士の関係、どうしてる？ どうしたい？」

「しんどくなると視野が狭くなる。しんどい時こそ視野を広く客観的に物を見る力を付けよう！」

不適切保育をどう考えるか？人手不足、1クラスの人数が多すぎる、保育士のリスクを予防する知識や技能の低下、追い込まれる保育士、研修や学びの機会が保障されているかなど、コロナ禍を経て、今までできていたことができなかったことの弊害も有り、保育園が地域に開かれていた時代と変わってきていることもあるようです。

親も変わってきている。「『ママ友ができない』が平気」「地域の人を保育園に呼ぶと不審者を園内に入れてもよいのか！」と、しんどさが増えてはいますが、やはり、困ったときに声をかけてくれる仲間がいること、おしゃべりを沢山できる環境、共有できる、見える化も大事だと言う話は、なるほどと思いました。(芝1)